



究極のリアリズムを追求した、世界初^{※1}の「8K対応液晶テレビ」「8K映像モニター」

『AQUOS 8K』を日本・中国・台湾・欧州4地域で発売

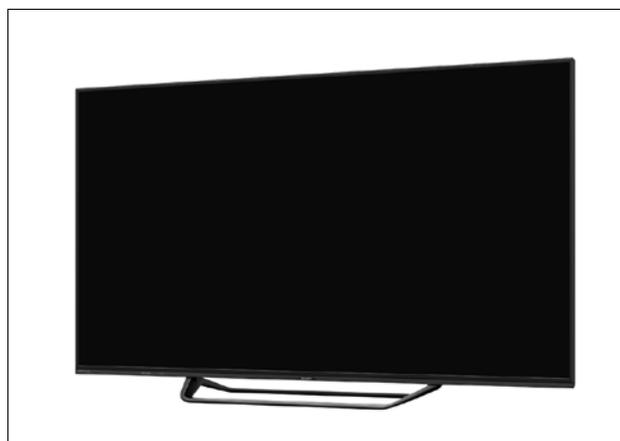
シャープは、当社の中期的な重点戦略である「8Kエコシステム」の中核商品として、世界初の「8K対応液晶テレビ」と「8K映像モニター」の『AQUOS 8K』シリーズを、日本・中国・台湾・欧州の主要4地域で発売します。まず、本年10月から中国、12月に日本、2018年2月から台湾、3月に欧州において順次発売します。

“8K”は、フルハイビジョンの16倍の高解像度を持つ超高精細映像で、これまでの4K解像度では表現できなかった究極のリアリズムを追求し、肉眼では捉えきれないきめ細かな映像を再現できる革新的技術です。今後、放送/映像分野に留まらず、医療やオフィス、セキュリティー、サイネージなど様々な分野において、人々の生活やビジネスなど世の中を大きく変えていく可能性を有しています。

当社はこれまで、日本市場において2015年10月に8K液晶パネルを採用した「85型8K映像モニター」を皮切りに、2016年には8K(スーパーハイビジョン)放送の受信が可能な「高度広帯域衛星デジタル放送受信機」を開発、本年6月には「70型8K映像モニター」を発売するなど、他社に先駆けて8K関連商品を数多く創出してきました。

今回、“8K”の革新的な技術と魅力を世界中の多くの方にいち早く体験いただくため、世界初の「8K対応液晶テレビ」を日本と中国で、「8K映像モニター」を台湾と欧州で販売することといたしました。

当社は今後も、「8K対応液晶テレビ」に加え、「8K放送受信機」や「8Kカメラ」など8K関連商品の開発を加速させ、「8Kエコシステム」の構築で世界をリードしてまいります。



シャープ 8K対応液晶テレビ **AQUOS**
(写真は、日本市場向けLC-70X500)

(8Kエコシステムとは)「エコシステム」は生態系を意味するもので、8Kの超高精細技術を核に次々と新産業の芽を創出し、社会のイノベーションを巻き起こすことをめざした当社独自の戦略。

※1 2017年8月31日現在(当社調べ)。【8K対応液晶テレビ】8K映像の表示が可能な画素数7,680×4,320の液晶パネルを搭載し、8K映像の入力が可能なHDMI入力端子を搭載した民生用液晶テレビとして。本機単体にBS・110度CSによる4K・8K放送を受信する機能は搭載しておりません。【8K映像モニター】8K映像の表示が可能な画素数7,680×4,320の液晶パネルを搭載し、8K映像の入力が可能なHDMI入力端子を搭載した民生用映像モニターとして。